

(様式3)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	32	学校名	宇都宮市立瑞穂野北小学校
----	---------------	------	----	-----	--------------

令和2年度 児童生徒指導に関する取組

1 児童生徒指導上の主な実態

(1) 問題行動等調査から

- ・友達同士の些細なトラブルはあるが、深刻な問題には至っていない。また、重大な暴力行為や仲間はずれ等も発生していない。
- ・いじめ対策委員会を開いた事例はなかったが、スポーツ少年団内でのいじめ(嫌がらせ)事例が1件。当該児童, 学年担任, 教務主任を交え, 双方から聞き取りを行い, 今後の各々の顕在意識についての指導を行った。(要経過観察中)
- ・登校渋り傾向の男子児童1名。→「無気力傾向, 対人関係」が主な原因。家庭訪問をしたり, 保護者やSCとの面談を継続して行ったりしながら, 本人の意識の変容と登校ができるように努めている。
- ・学校の施設や備品等を損壊させる行為は発生していない。

(2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・各学年, 大半の児童が学校生活に満足している。
- ・学校への来校者や本校職員へのあいさつがきちんとできている。
- ・きまりや約束を守ることを大切に思う児童が多く, 規範意識が高い。
- ・校内では丁寧な言葉遣いを意識している児童は多いが, 校外においては十分でない。
- ・いじめはよくない行為であり, 「しない」「許さない」という態度が育っている児童が多い。

(3) 学校生活の状況から

- ・明朗快活であり, 素直な気持ちで学校生活を送っている。
- ・異学年集団(縦割り班)での活動が充実しており, 全校児童が互いをよく理解し合っている。
- ・人のためになる活動を快く引き受け, 責任をもって行う児童が多いが, 集団で活動する場面では, やや人任せになってしまう傾向にある。
- ・分担された活動等はきちんと行えるが, 指示待ち傾向が見られる。また, 困難なことなどに対して避けようとする傾向も見られる。
- ・2～3世帯同居の家庭が多く, 生活環境に恵まれており, 食事も家族と一緒に摂る児童が多い。

2 今年度の重点目標

自信をもって活動し, 困難に負けないたくましい心をもった児童の育成

- ・児童のよさを見取り, 「認め・褒め・励ます」指導を実践する。
- ・課題を克服する充実感や達成感を味わわせたり, 粘り強さや自律心を育んだりする学習活動を工夫する。

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に★，「令和2年度指導の重点」に関する取組は文頭に□，授業における取組のうち重点は文頭に○）

(1) 自他のよさに気づき，認め，尊重し合える人間関係の醸成

- 互いのよさを認め合い，児童一人一人の存在感が得られるような学級経営
 - ・Q-Uを生かした学級経営の展開，経営方針の再検討と対策（6月）
- 一人一人のよさを発見する手立てと工夫（学習情報システム「日々の記録」の活用）
- ★縦割り班活動を生かした給食や清掃，学校行事等を通し，児童の協調性・社会性の育成，及び高学年においてはリーダーとしての資質の育成
 - ・「クリーン活動」「清掃強化日」を活用した地域の人々との交流や，勤労・奉仕的活動の充実

(2) 基本的な生活習慣の育成

- ・「瑞北小の一日」の内容の周知・徹底と，児童自らが決まりを守っていこうとする態度の育成
- ・地域学校園児童生徒指導教育相談分科会での，情報交換と共通理解による児童生徒指導
- ★○家庭と連携した，時と場に応じた返事やあいさつの励行と言葉遣いの指導
- ★○地域や地域学校園によるあいさつ運動の実施（11月）
- 集団生活における規範意識の育成

(3) 豊かな心をもち，自主的に判断し行動できる児童の育成

- 認め・褒め・励ます指導を通して，自己有用感を高めることによる心豊かな児童の育成
 - 特別活動における目標（目あて）を明確に示し，粘り強く取り組むことのできる児童の育成
- 体験的な活動の充実による心のたくましさの涵養
- ★生命・人権の尊重やいじめを題材とした道徳の授業の展開と「いじめゼロ集会」の実施
 - 情報機器を使ったトラブルの防止について，学級活動や児童会活動における児童への啓発（学級懇談会における，携帯電話の所持と使用についての共通理解）
- ★道徳の授業での，児童の心を揺さぶる感動教材や身近な資料，ねらいの明確化による発問の精選などによる，心に響く授業展開の工夫
 - ・「ホテルの夕べ」「地区運動会」「どんどん焼き」等の地域行事への積極的な参加の推進
 - グループ学習や習熟度別学習等，分かる喜びや成就感及び自己の存在感が味わえるような学習指導の工夫
 - ・朝の読書の工夫・改善や，司書等による読み聞かせやブックトーク等の活動の工夫

(4) 児童理解の充実

- ・児童指導情報交換会の実施による，各学級の実態の共通理解
- 児童の行動観察，良い行動や問題行動の記録（学習情報システム「日々の記録」の活用）
 - ・Q-Uの結果を活用した事例研究会の開催
- 「おしゃべりぽすと」の活用や教育相談期間の設定，学校生活に関するアンケートの実施等による不登校やいじめ等の問題の早期発見
 - ・学校便りや学年だより，ホームページ等を活用した家庭や地域社会への情報提供
- ★人権教育研修会（いじめ問題を含む）の実施

